

図書館及び図書館司書の実態に関する調査研究報告書  
「日本の図書館はどこまで「望ましい基準」に近づいたか」

目次

第1章 調査研究の概要

1.1	調査の目的（趣旨）	2
1.2	調査の対象	2
1.3	調査方法等	2
1.4	調査期間	2
1.5	調査研究組織	2
1.6	回収結果	3

第2章 調査結果の概要（要約）

2.1	教育委員会	5
2.2	図書館	7

第3章 調査の結果Ⅰ（教育委員会）

3.1	図書館の振興	11
3.2	事業評価	16
3.3	図書館職員の育成・研修	21
3.4	市町村合併	23
3.5	特色ある図書館振興施策	26

第4章 調査の結果Ⅱ（図書館）

4.1	図書館サービスの計画的実施	30
4.2	図書館サービスの自己評価	36
4.3	図書館職員	43
4.4	ボランティアの参加促進	48
4.5	市区町村立図書館への援助	51
4.6	図書館間の連携・協力	53
4.7	電子的なサービス	57
4.8	図書館協議会	66
4.9	特色ある図書館事業（サービス）	76

第5章 提言

5.1	図書館振興と全域サービス網の整備	79
5.2	自己点検・評価	80
5.3	住民参加	80
5.4	図書館業務を担う職員と研修	81
5.5	図書館行政への期待	81

第6章 資料

6.1	調査票	84
6.2	集計表	96
6.3	公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準	119

